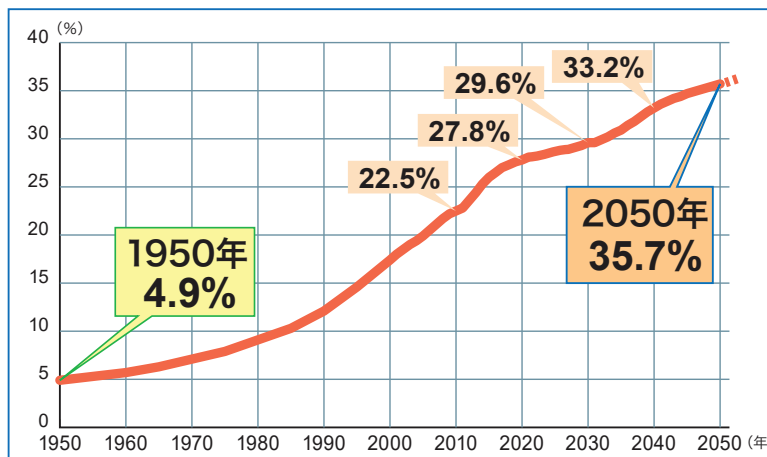


高齢者の精神保健福祉(1)

日本は長寿国の一つです

2050年には、**3人に1人が高齢者**(65歳以上)です。

日本の65歳以上人口割合(1950~2050)



出典●総務省統計局「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

おこりやすい精神症状

認知症

うつ病
(気分障害)

妄想

心の健康寿命を延ばしましょう

老年期は死別、引退、病気などさまざまな喪失体験に伴う精神症状が多くなります。

通常の物忘れと認知症高齢者の物忘れ

	通常の物忘れ	認知症高齢者の物忘れ
●特 徴	生理的な加齢に伴うもの	病的で痴呆性疾患に伴うもの
●記憶・記銘障害	記銘力低下(覚える力の低下が主)	記銘力障害とともに想起障害(思い出すことの障がい)が見られる
●物忘れの自覚	自分では物忘れを認めて努力する 探し物は多い	自分で物忘れを認めようとしない 探そうとしないで誰かが盗ったという
●見 当 識	日・時・場所は、わかる	日・時・場所がわからなくなる
●作話(作り話)	ない	ある
●学習能力	保持されている	阻害される
●日常生活	支障はない	明らかな支障がある
●進 行	極めて徐々に進行	進行が速い

平成16年以降、行政用語及び一般的な用語として、「認知症」が使われ、医療用語としては引き続き「痴呆」が使用されます。